

# ほし み 星を見よう!

2023年6月号

No.294

2023年6月3日

しろい しぶんか

白井市文化センター・プラネタリウム

〒270-1422 白井市復1148-8

TEL047-492-1125 Fax047-492-8016

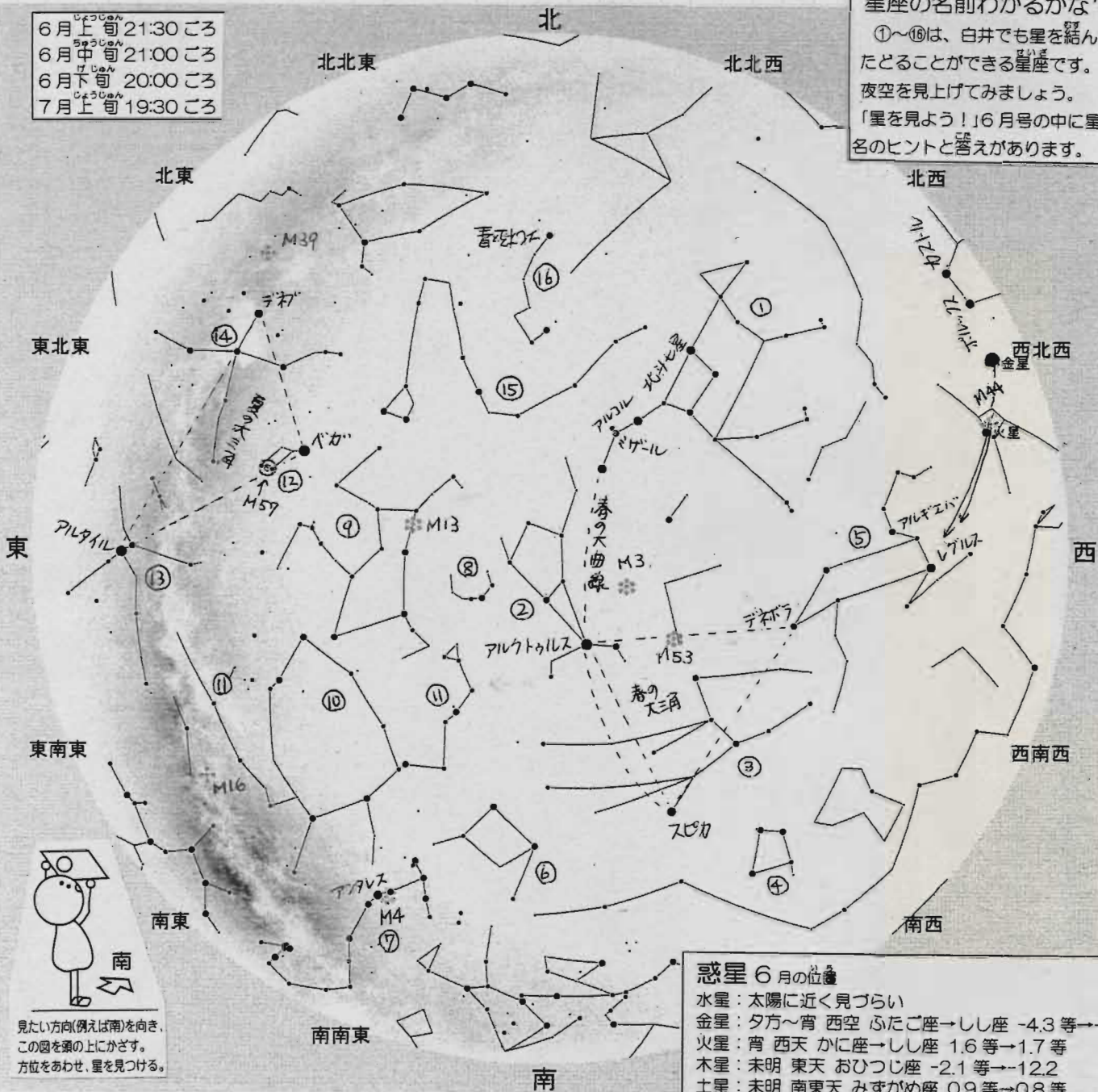
e-mail: planet@center.shiroi.chiba.jp

URL: https://www.center.shiroi.chiba.jp/planet/

星座の名前わかるかな?

①～⑯は、白井でも星を結んでたどることができる星座です。夜空を見上げてみましょう。

「星を見よう!」6月号の中に星座名のヒントと答えがあります。



見たい方向(例えば南)を向き、この図を頭の上にかざす。方位をあわせ、星を見つける。

**惑星 6月の位置**  
 水星: 太陽に近く見づらい  
 金星: 夕方～宵 西空 ぶたご座→しし座 -4.3等→-4.5等  
 火星: 宵 西天 かに座→しし座 1.6等→1.7等  
 木星: 未明 東天 おひつじ座 -2.1等→-12.2  
 土星: 未明 南東天 みずがめ座 0.9等→0.8等

◆ドーム入場前に手指消毒をお願いします。 6/15(木) 東民の日 11:30・15:00

★土曜日・日曜日・祝日 (月曜と重なる祝日は休館) 予約不要 投映開始時刻 30分前から券売 86席  
 投映料金: 市内大人280円 高校生以下110円/市外大人350円 高校生以下160円

★ロイヤアワー 11:30 ほしぞらさんほ きせつの星座と星ものがたり  
 子ども向け

★アストロアワー 15:00 宇宙はノンストップ それぞれ投映時間約45分間  
 一般向け

★星を見る会 要予約 対象:小学生以上(小学生は保護者同伴) 小学生未満は受付不可  
 7月22日(土)19:30 約75分間 申し込み期間: 6月20日～25日(必着) 定員30人  
 ハガキかメール申し込みです。詳細はホームページ等を参照してください。超えた場合は抽選

ドーム内で解説後、実際の空で星座を探し、望遠鏡で月、星団他を観望  
 大人200円 高校生以下無料 雨天曇天の場合はドーム内で約45分間の星空解説のみ

★プラネタリウムの休館日 毎週月曜日と年末年始

太陽の縁と表面 5月5日  
 写真中央の縁にあるプロミネンスの高さは地球約4.5個分あります。

写真提供: 平野 岳史



# ブラックホールを取り巻く降着円盤\*と噴き出すジェットを初撮影 (その2) 5月号の続き

おとめ座のM87銀河は、その中心からジェットの噴き出す様子が以前から捉えられ、2019年にはイベント・ホライズン・テレスコープ(EHT)によって、ブラックホールの存在が明確になりました。しかし、その2つを繋ぐ降着円盤は予測されていたものの画像はありませんでした。2023年5月1日、16台の電波望遠鏡で共同観測するグローバルミリ波VLBI観測網(GMVA、下図)によって左下の画像が発表されました。これまでは、ブラックホールとそこから遠く離れたジェットの別々の画像で見えていましたが、GMVAが新たな波長帯で撮影することによって、ブラックホールを取り巻く詳細な構造(降着円盤)とジェットを一枚に収めることができたのです。

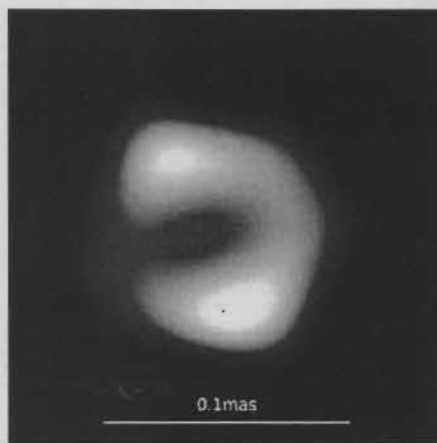
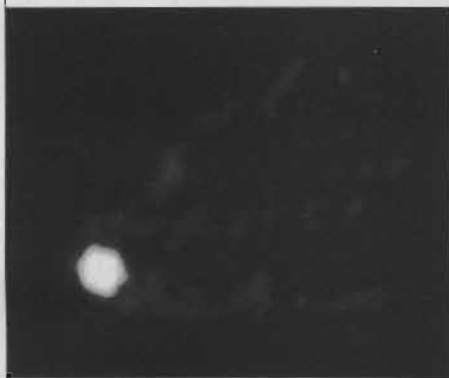


降着円盤：回転しているガスなどの物質が、強い重力の中心天体に引き付けられ落ちていくとき、その天体のまわりに来る円盤状の構造。

下図の0.1mas : 0.1 ミリ秒角。0.027光年に相当。

0.027光年の大きさ(距離) = 1707.5天文単位

1天文単位とは、太陽と地球との距離(約15000万km)



左：M87巨大銀河の降着円盤とジェット  
右：降着円盤の拡大 写真提供:Lu et al. 2023

## 今月の見どころの重星連星天体

### ミザール(おおぐま座)

肉眼二重星のアルコルで、目の検査もしましょう。

### アルギエバ(しし座γ星)

オレンジ色 2.6 等星と黄色の 3.8 等星の二重星。

### コル・カロリ(りょうけん座)

黄色の 2.9 等星と紫色の 5.6 等星の二重星。

### アルピレオ(はくちょう座)

くちばしの星。オレンジ3等と青5等の星が寄り添うように輝きます。

### こと座 ε 星 ダブルダブルスター

双眼鏡では二重星、望遠鏡で見ると四重星。二重星(ε1、ε2)のそれぞれがさらに二重星。ε1は5.0等と6.1等、ε2は5.1等と5.4等の連星系。

## しろいメール配信サービスに登録しましょう

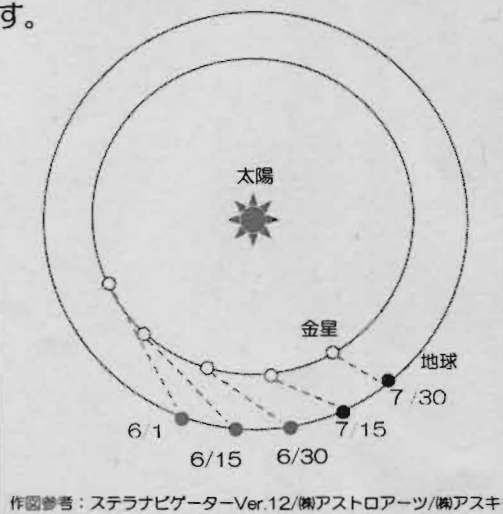
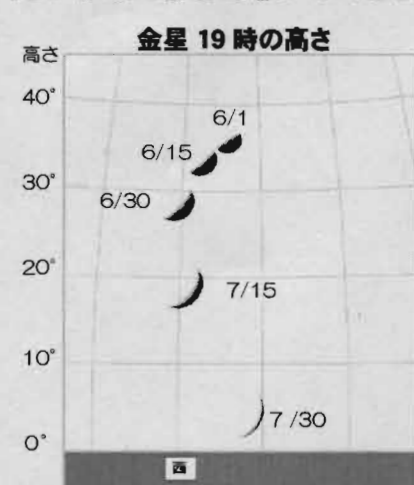
下のQRコードで登録してください。イベントの前にメールが届きます。

- ◎コンサート情報
- ◎イベント講座情報
- ◎文化センターイベント情報



## 宵の明星、金星の形と見える高さの変化

夕方から宵に西空で明るく輝く金星。徐々に地球との距離を縮め、見かけの大きさを増していきます。



どせい えいせい こ  
**土星の衛星149個(確率がある3つを除くと) 146個!** 2023年5月24日現在

現在、土星は未明の東の空に見えます。太陽系で最も衛星数の多い惑星となりました。今年8月ぐらいから、宵の空で見易くなります。